



THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION NEWS

YMCA 大阪青年



キャンプと私とYMCA



大阪体育大学教授・前学長
日本野外教育学会副会長
ながはし ひろひで
永吉 宏英

10年ほどにわたり子ども達と旧鯖街道沿いに6日間、福井県の三方町から高槻市まで150kmほどを歩く移動キャンプをしたことがあります。芦生の原生林や八丁溪谷の清流など自然豊かな所を歩きました。八丁溪谷では、澄み切った流れに時間を忘れて遊び、水をかけ合う単純な遊びが崖から飛び込んだり、枝を拾って即席の竿をつくり、釣りに挑戦する遊びに発展しました。友だちがどんどん高いところに登って飛び込むのに刺激されて、恐る恐る飛び込み

私はYMCAとは40年近いおつきあいです。1980年頃から大阪YMCAの元副総主事 酒井哲雄先生が中心になって、YMCAのキャンプ施設を使い、実施してきた社会体育指導者セミナーでは、スタッフや講師の一員を務めさせていただきました。1990年頃から取り組んできた認知症高齢者のレクリエーション支援やシニアキャンプ、介護予防指導者養成の活動でも力強い支援をいただきました。

キャンプに代表される野外活動の特質は、「体験を通した学び」にあります。近代教授学の創始者コメニウスは、「子ども達にある事柄について学ばせる場合には、事物や事象を見る、聴く、さわる、働きかける等の活動を通して感覚的に体験させることから出発し、次に体験し、感覚的にとらえたものを『なぜ、どうして』という思考のプロセスを経て科学的・合理的な概念に置き換える。そして、この形成された概念(知性)を、実践を通して自己の成長や社会の発展につなげていくことが、認識の発展過程として望ましい」と言っています。

そしてキャンプです。きっかけはアメリカで2年近くにわたって環境教育について学び、プログラム優先のキャンプを引っさげ意気揚々と参加した1984年の組織キャンプ研究会です。酒井先生や神戸YMCAの今井鎮雄先生等との出会いが、グループワークを重視し、子ども自身の成長する力を引き出すキャンプの大切さを教えてくれました。それ以来、YMCAキャンプにつながる人々が私を育ててくれました。私が大阪体育大学のキャンプ長になった1991年、開学以来実施してきた山のキャンプから大阪YMCA阿南国際海洋センターに実習の場を移したのも、YMCAキャンプの理念がスタッフのリーダーシップやプログラム、センター運営に反映されており、それが実習教育に力を与えてくれると確信したからです。

移動キャンプの事例に見るように、子ども達の社会性や自己効用感を育むためには、体験を通した学びが重要で、互いにぶつかり合ったり、助け合ったりして、自分の力で成長していくための環境が必要です。それがキャンプです。キャンプでは、優れたスタッフやリーダーの存在が子ども達の成長する力を引き出してくれます。1920年に六甲山麓で初めて子ども達を対象とした組織キャンプを行って以来、日本のキャンプの歴史をリードしてきたYMCAのキャンプには、自然とのふれあいや学び、仲間との葛藤や協力、冒険への挑戦などの成長の機会があふれています。

みなさん、いよいよ夏本番、キャンプの季節の到来です。YMCAキャンプで素敵な夏の贈り物をお子さん達にプレゼントしてみませんか。

INDEX

・キャンプと私とYMCA	1P
・YMCA Mt. Rokko Global Village Camp開催!	2P
・ボランティア活動紹介～ユースボランティアリーダー～	
・創立記念礼拝	3P
・食育コラム	
・大阪YMCA「安全の日(7月18日)」について	
・ユースリーダー安全支援金ご協力お願いします	
・早天祈祷会	
・会員	
・賛助会員	4P

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

発行：末岡祥弘 編集：大阪YMCA広報室
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6
TEL 06-6441-0894 FAX 06-6445-0297
大阪YMCAのホームページでその他の情報をご覧いただけます。
URL: <http://www.osakaymca.or.jp/>

No.671

2014 7-8月号

YMCA Mt. Rokko Global Village Camp開催!

六甲山YMCA・呼子高原
副所長 清家 球平
せいけ きゅうへい

1951年に開設され、長い歴史の中でたくさんのキャンパーたちが訪れ、
たくさんの人々に愛されている六甲山YMCA。

美しい自然、鳥たちのさえずりや風の音など、大阪市内から1時間ほど
の近郊にありながら、私たちを都会の雑踏から遠ざけてくれる場所です。
私たちは今、メトロポリタン・ミネアポリスYMCAから来てくれたロド
ソビッチ夫妻と共にGlobal Village Campを準備しています。

各国のYMCAのリーダーとアクティビティを体験しながら、今回参
加するキャンパーと共に世界を感じることができるキャンプ作りをし
ています。

今回のキャンプは、六甲山を小さな地球とし、キャンパーは世界のこと
を考える地球村の村人となり、アクティビティをしながら、グローバルな

感覚を体感していきます。

この夏私たちはロドソビッチ夫妻以外に、ホノルル、サンフランシス
コ、ソウルの各YMCAスタッフや、ICCP(International Camp
Counselor Program in Osaka=大阪YMCA国際キャンプカウンセ
ラー)に参加する大学生のリーダーと共に、たくさんの人々が六甲山
YMCAに来訪されることを願っています。

このキャンプでは、Canoeing、Nature Studies、Outdoor Cooking、
Camp Firesなどのアクティビティを小グループに分かれて体験します。

様々な国の人々との出会いと異文化コミュニケーションができる今回
のキャンプ体験は、キャンパーひとりひとりがグローバルな視点を持つ
きっかけとなり、大きな財産となるでしょう!

今年の夏は、六甲山で世界を体感しよう!

SESSION 1 2014年8月2日(土)～5日(火)3泊4日

SESSION 2 2014年8月6日(水)～9日(土)3泊4日

対象 小学3年生～6年生 (テント泊1日 宿舎泊2日)

CAMP ACTIVITIES

Global Challenge Race

- ・Canoeing... カヌーに乗って、たくさんの国のパスポートをGETしよう!
- ・Nature Studies... グローバルな視点で自然について考えよう
- ・Scavenger Hunt... 自然の中でいろいろなものを見よう
- ・Team Building... 英語でコミュニケーションをしながら、仲間を作ろう
- ・Arts & Crafts... 世界に一つのオリジナルクラフト



- ・Large Group Games... キャンパーみんなで、ゲームしよう
- ・Outdoor Cooking... 外国のデザート作りに挑戦!
- ・Camp Fires... 毎日仲間と火を囲んで、楽しもう!
- ・Songs & Skits... 英語の歌を覚えよう
- ・And much more!... まだまだ楽しいプログラムが満載です

詳しくは [六甲山YMCA Global Village Camp](#) [検索](#)

Mt. Rokko Global YY Village

Village Director ピーター・ロドソビッチ コニー・ロドソビッチ
Peter Rodosovich / Connie Rodosovich

今夏、40名を超える日本のユースたちに向けて
Global Village Campを六甲山YMCAにて実施
します。ハワイとカリフォルニアからの国際イン
ターンが4名、そのほかに4名の国際キャンプカウ
ンセラーを香港、台湾、韓国などから招き、9～12
歳の日本の青少年向けにGlobal Village Camp
を行います。このキャンプのほかにもEnglish
Kids Campなど様々なキャンプや催しを予定しています。



私たち夫婦は大阪YMCAから招かれ、6月にアメリカから来日しまし
た。私たちはアメリカ・ミネソタ州にあるメトロポリタン・ミネアポリス
YMCAで30年以上勤務してきました。妻コニーはミネソタ州にある4
つのYMCAキャンプ場のゼネラル・マネージャーとして10年以上勤務
し、自然の中でのキャンプについて実際のキャンプ運営から施設の維
持管理まで幅広い経験を有しています。夫ピーターはYMCAのChief
Development Officer (最高開発責任者)として勤務し、青少年の
リーダーシップ開発プログラムの実施や、大学YMCA(ユニY)での青
年のトレーニングに携わってきました。ミネアポリスYMCA退職後、大
阪YMCAにお声かけいただき、佐藤さん、樫本さん、清家さんをはじめ

とする六甲山YMCAタスクメンバーとともに六甲山YMCAでのプログ
ラム開発を行っています。

文頭でご紹介しましたGlobal Village Campは、今年から3年計画
で実施される六甲山YMCA改革計画の第一弾として行われるもので、
今夏、2セッションを行います。日本からの参加者は各国からのキャン
プスタッフによる指導の下、様々なグループ活動を行います。自然の中
での交流ゲーム、アドベンチャー体験、ネイチャーハイク、学習活動な
ど4日間を通して様々な体験をすることができます。

今後は六甲山YMCAタスクで検討しているとおり、Global Village
Campだけではなく、スタッフやボランティアの皆さんが行う、プログラ
ム評価、施設評価へも関わっていきたくと思っています。そして最終的
には、六甲山YMCAがグローバルな視野をもったユースリーダー開発
の場、異文化間コミュニケーションを体験する場、また、多様な地域か
らの人たちが相互理解を深める場として、アジア地域におけるかけが
えのない場所(Global Learning Center)となっていくことを願って
います。このことは、六甲山YMCAが青年たちへの意義深い学習経験
やトレーニングを提供してきた長い歴史とも合致することであると考
えています。

大阪YMCA ボランティア活動紹介

～ユースボランティアリーダー～

築く笑顔

YMCA阿南国際海洋センター うえむら さおり
上村 紗央里 (まるリーダー)

「リーダー!リーダー!起きて!」子どもた
ちの声で目覚める朝。私が初めてキャン
プのリーダーとして参加したのは2013年8
月、阿南国際海洋センターでの6泊7日の
阿南長期キャンプでした。女の子6人のグ
ループを担当し、7日間の生活、ヨットやカ
ヌー、カヤックやシュノーケリングなど様々
なマリンスポーツと一緒に楽しみました。



毎晩寝る前に翌日の予定を確認して、
起きる時間を伝えると、「リーダーより先に起きる!」と言って毎朝予定
の30分前に私を起こしてくれる子どもがいました。「リーダーが起こす
まで寝ていいよ」と言うと、「子どもリーダーは、みんなを起こすのが
仕事です!」と彼女は言いました。グループの中でそれぞれ役割を決め
ていて、彼女の役割は毎朝みんなを起こすこと。自分の役割を果たそ
うと一生懸命な姿を見て、協調性や積極性が生まれているのだと感じ
ました。

キャンプ最終日、1番楽しかったことをグループのメンバーに聞いてい
ると一人だけ「うーん、わからない」と考え込む姿が目に残りました。私
が、「楽しくなかった?」と聞くと「だって、みんなでお風呂に入るのも、遊
ぶのも、寝るのも全部楽しかったから1番は選べない」と答えたのです。
そのとき私は感動を覚えるとともに、キャンプの良さを痛感しました。初
めて会う人たちと一緒に過ごすこと自体が子どもたちにとっては新鮮で
あり、難しいことかも知れません。しかし、グループという小さな輪の中
で信頼関係を築き、自分のことだけでなく「他人を思いやる」という心
が芽生えていくのだと思います。私はキャンプに参加し、たくさんの笑顔
に出会えました。笑顔溢れるキャンプ。これがYMCAのキャンプです。
私は、阿南国際海洋センターのリーダーとして、YMCAのリーダーとし
て、これからも笑顔を繋いでいきます。

子どもの姿と私の思い

南YMCA いいだ ゆうき
飯田 有妃 (ゆっきーリーダー)

私が思うYMCAキャンプの特色は、少人数でのグループ活動です。
初めて出会った友だちの名前を覚え、呼び合うことから活動は始まり
ます。グループで共に生活していくうちに、友だちに声をかけ、協力し合
う姿が自然と見られるようになり、次第に距離を縮め、関係を深めてい
きます。全てがスムーズに行くことはなく、活動の中で自分の意見と友
だちの意見が異なり、ぶつかることもあります。私は、そのような経験
をすることこそが大切なことだと思います。友だちの気持ちを知り、そ
こからまた新しいアイデアが生まれ、実行する。この過程を行えること
も、少人数ならではのことでと思います。友だちと考え、喜び合える、そ
んな関係を作れるところがYMCAキャンプの特色だと思います。

子どもたちは、友だちやリーダーとの野外活動を通して、様々なこと
を学び、心身ともに成長していると感じます。自然の中で、友だちと野
外炊飯をしたり、生活環境を整えたりと、普段の生活では体験すること
のない活動を行います。その活動から、日常生活の便利さ、親への感
謝の気持ちなどに気づく姿が見られます。そして仲間の大切さを感じ、
信頼関係も築いていきます。この活動こそが、子どもたちの豊かな心を
育むことに繋がっているのだと私は感じています。また子どもたちが、
活動の中で五感を使い、全身で自然を感じる姿が見られます。自然環
境の大切さ、自然との共生について考える良い機会、学びになっている
と思います。

そのような活動や過程を通して、リーダーである私は、笑顔が溢れ、
キラキラ輝く子どもたちの姿を見ることが出来ます。また、24時間共に
生活できるので、一人ひとりの関わりを大切にすることができ、共に
考え、喜び合うことのできる幸せ、充実感を楽しみにしながらキャン
プに行っています。

子どもたちにはキャンプ生活を通して、仲間と共に生活することの喜
び、仲間の大切さを感じ、感謝の気持ちを大切にできる人に成長してほ
しいと思っています。



大阪YMCA 創立記念礼拝

大阪YMCA 会員
おくだ ときお
奥田 時夫



去る6月7日(土)、大阪YMCA10階チャペ
ルに於いて、100名を超える方々の参加の
下、創立記念礼拝の時を持ち、創立132年
の長い歴史を刻むことができました。

今年は大阪教会主任牧師の岡村恒先生
を迎え、「求めよ、そうすれば、与えられるであろう」と題し奨励を頂きま
した。折しも大阪YMCAは公益財団法人として新しい歩みを始めている
時でもあり、マタイによる福音書第7章7-12節が、我々が求めている
方向性に合致した説教である事に気付かされました。YMCAは、イエ

ス・キリストの愛と奉仕の生き方に学んだ精神で、世界最大の青少年育
成団体としての使命達成のため、「共に生きる力」を育む活動を行い、地
域社会と共に生きる社会の実現を目指しています。

礼拝の中で席上献金を行い、集められた献金は大阪YMCAが支援
を継続している「東日本大震災への支援金」として用いられます。

当日は、生花の準備:林やえ子さん、受付、献金担当:大阪YMCA活動
推進委員の皆さん、司会進行:入江保夫さん、奏楽:小林智美さん、そ
の他YMCAスタッフの皆さんのボランティアのご奉仕により無事終了しま
した。その後、部屋を替えしばし歓談の時を持ちました。



「食への興味」

ながの かなこ
YMCAあわぎ保育園 栄養士 永野 可奈子



YMCAあわぎ保育園では、子どもたちと一緒にプランターで季節に応じた様々な野菜を育てています。これまでもトマト、なす、オクラ、ピーマン、きゅうりなど子どもたちが身近に感じる野菜を育てました。プランターでの栽培ですが、自分たちが食べるものがどんな風に育っていくのかを見たり、神様からの恵みを感じるようになるといいなと思い取り組んでいます。今年5月にミニトマトとさつまいもを植えました。トマトはぐんぐん伸びて実をつけ、子どもたちもその様子を毎日うかがいながら、今から収穫を楽しみにしています。お散歩に行く前に葉っぱや実に触れてみたり、保育者と一緒に水やりをして「大きくなりますように」とお祈りをしたりしています。実がなれば、みんなで収穫をして、厨房スタッフが調理をして給食に出します。「みんなで育てたトマトだよ」、「おいしいね」など保育者や子どもたち同士で会話をしながら、嬉しそうに食べています。

食べることに会える乳児期の大切な時期に、自分たちで育てたものを食べるというこのような体験を通して、子どもたちが食への興味を深め、食べることがより一層楽しいと感じることに繋がるといいなと願っています。食べることが大好きなYMCAあわぎ保育園の子どもたち。これからも食べることのへ出合いを大切にしながら、食事環境を整えていきたいと思っています。

大阪YMCA早天祈禱会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第255回 日 時…2014年7月18日(金)7:30~8:30

証 し…吉元 弘さん
(大阪YMCA早天祈禱会世話人)

場 所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

■第256回 日 時…2014年8月22日(金)7:30~8:30

※8月のみ第4金曜日に行います。

証 し…野口 賢太郎さん
(土佐堀YMCA スタッフ)

場 所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ…大阪YMCA 本部事務局 総務

TEL:06(6441)0894 E-mail:info@osakaymca.org

お詫び

先月(6月)号の2面にご執筆いただきました前川敦さんのお名前の記載に誤りがありました。ここに訂正するとともに、謹んでお詫び申し上げます。

誤)前川 淳 → 正)前川 敦

大阪YMCA「安全の日」について

大阪YMCAでは、屋外での活動の機会が多くなる本格的な夏を迎えるにあたり、毎年7月18日を、大阪YMCA「安全の日」と定め、「生命」の大切さと、自分自身の「安全」と他者の「安全」を考慮する機会として「安全キャンペーン」を実施しています。

私たちは日常生活の中で、多くの危険なことに直面しながら、知らず知らずのうちに見過ごしたり、気づかなかつたりすることがあります。自分自身は気をつけていても、思わぬ災難、災害に出会うこともあり、単に軽い怪我だけでなく、尊い生命までも失ってしまうことさえあります。

たった一つしかない自分の「生命」を自分自身で守っていくために、そしてYMCAが大切にしている価値(思いやり、誠実さ、尊敬心、責任感)にも関連し、自分自身と他者の「安全」を考えていくために、この「安全の日」を機会に、もう一度身の回りの安全について、ご家族やお友達と一緒に考えてみてください。

これから暑い夏を迎えますが、身体に気をつけ、健康で有意義な夏を過ごしてください。

ユースリーダー安全支援金 ご協力をお願い

大阪YMCAでは、YMCA運動を支え発展させていく担い手であるユースボランティアリーダーの安全と研鑽のために、研修等に用いられる募金をお願いしています。みなさまのご協力をお願いいたします。

募金方法 一口 1,000円

募金期間 7月1日(火)~8月31日(日)

受付窓口 各YMCA、大阪YMCA本部事務局
(06-6441-0894)

■会員・賛助会員としてのご協力で感謝申し上げます。

2014年5月度報告

【新規会員】

稲付 洸太
加藤 明宏
川岡 由加
山添 愛梨
【継続会員】
生雲 文枝
石川 悟
石原 福造
伊藤 正尚
稲岡 悠紀子
今村 一之
岩田 晋
岩本 詩愛
宇都宮 垂穂
梅谷 明子
遠藤 徹郎
大島 佑香
奥田 和弘
奥田 時夫
加藤 俊昭

川口 和子
河本 武久
木山 敦子
久保 秀美
桑原 頼子
小西 和子
斉藤 知義
酒井 哲雄
坂田 茂
坂本 美和
桜井 和之
清水 誠治郎
清水 汎
卜田 昭子
卜田 啓三
神内 柚菜
鈴木 絹子
鈴木 璋三
高尾 真理子
高田 一
武田 安規

田中 智泰
田中 惟介
千葉 佐保
津田 誠
藤 孝子
富田 泰子
永井 温子
中本 和子
西澤 颯
西田 孝和
日野 建吉
野網 ゆき
芳賀 義昭
長谷川 幸子
日野 多栄子
富士水 英一
本間 裕加里
前田 孝志
高尾 克成
松浦 孝次
松下 達男

松下 広子
松原 満
水野 善夫
水口 美里
森井 隆生
森田 照美
森永 真唯
森本 榮三
安田 萌
雪本 洋美
芳田 直央
吉田 全孝

【継続賛助会員】

栄光時計株式会社
株式会社シェル石油
大阪発売所

